

競技実施上の注意

1. この大会の適用する規則は、平成19年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項による。
2. 競技者の招集の方法は、次の通りとする。

イ 招集開始・終了時刻は、その種目開始時刻を基準として次の通り。

	トラック競技	フィールド競技	
		跳 躍	投 擲
開 始	30分前	40分前	60分前
終 了	15分前	20分前	50分前

- ロ 招集所から競技場までは、係員の指示により入場すること。
 - ハ 代理人の招集は認めない。招集終了時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなす。ただし、競技時刻が重複しているものは競技者係に申し出ること。
 - ニ ナンバーカードは、規定のものを胸・背部につけること。
3. トラック競技の決勝レーンは、番組編成での抽選により決定する。
 4. 用器具は、主催者が用意したものを使用することを原則とする。
 5. 各種目の3位までの入賞者は、決勝通告の5分後に本部で表彰をうけること。
 6. リレーのオーダー用紙は、競技開始1時間前までに競技者係に記入・提出すること。
(オーダー用紙は競技者係で受け取る。オーダーの提出は招集を受けたことにならない。また、決勝レースについては、あらためて提出のこと。)
 7. 競技中に発生した障害疾病については、応急処置は主催者においておこなうが、以後の責任は負わない。
 8. 800m以上の種目は、危険防止のためグループスタートとする。
 9. 3000m・5000mにおいては、競技運営上3000mは2600mまで、5000mは4000mまでに先頭から1周抜かれた競技者は失格とする。
 10. 走幅跳においては、小学生男女・中学生男女は2回の試技でベスト8を選出する。
また、以下の通り計測ラインを設け、それ以下は計測をおこなわない。
(小学男女3m00, 中学男4m80, 中学女3m80, 一・高男5m60, 一・高女4m40)
 11. 走高跳のバーの上げ方は、男子1m60～1m80まで5cm刻み、以後3cmづつ上げる。女子1m30～1m55まで5cm刻み、以後3cmづつ上げる。
 12. 砲丸投の計測ライン 中学男8m00, 中学女7m50, 一般高校は当日決定する。
 13. 4×400mR の第2・第3走者は左腰に腰ナンバーをつけること。なお、第4走者は右腰につける。
 14. 小学生1000mのスターティングブロックの使用は決勝のみ認める。